機能ＩＤ	項番	枝番	機能名称	機能要件	実装区分	適合基準日
0150322	2.7.1.	2		・管轄税務署	標準オプション機能	
0150197	2.7.2.	1	各種照会等作成	各種財産の照会については、照会先ごとにマスタ登録され、選択し、依頼文を作成できること。 タイトル、照会内容を自由に作成できる、フリーの照会文書を出力できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150198	2.7.2.	2		定期的に照会する照会先をグループで登録し、グループの照会先すべてに一括して照会文書を出力できること。	標準オプション機能	
0150323	2.7.2.	3		課税情報から勤務先情報を連携し管理項目として登録し、給与照会の際に勤務先の管理項目から選択して出力できること。 手動で宛先を修正できること。	標準オプション機能	
0150199	2.7.3.			照会文書・回答文書の文面、住所、氏名、タイトルを、自由に編集できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150342	2.7.4.			金融機関等への照会について、金融機関×行政機関の情報連携検討会で定義する電子照会用フォーマット（必須項目、任意項目）及び電子照会サービスを提供している事業者が独自で定めている項目をもとに、照会に必要なデータを出力できること。 また、回答を電子データで一括して取り込むことができること。 照会対象者、回答を出力できること。	実装必須機能 （※）	
0150201	2.7.5.			他機関からの実態調査の照会に対し、回答書を出力できること。システムで保持している項目は自動作成されること。ただし、項目を指定して出力を制御できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150202	2.7.6.	1	回答情報の管理	各調査書・照会書・申請書から得られた回答情報の管理（設定・保持・修正）ができること。 財産は債権・不動産・自動車等、動産・無体財産・振替社債等・その他の区分と、詳細（例：債権の場合預貯金、給与、保険等）の管理ができること。 回答先を登録する際、マスタから選択できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150203	2.7.6.	2		各回答情報と併せて、財産状況フラグ（調査予定、調査済み、処分可能、処分中、処分解除）を管理できること。	標準オプション機能	
0150204	2.7.6.	2		一括でシステム外で作成した回答情報を登録できること。	標準オプション機能	
0150205	2.7.6.	2		換価執行に関する情報を管理できること。 ＜換価執行に関する情報＞ ・回答（同意／不同意）	標準オプション機能	
0150206	2.7.6.	2		・同意、不同意の理由	標準オプション機能	
0150207	2.7.6.	2		・同意年月日	標準オプション機能	
0150208	2.7.6.	2		・取消事由	標準オプション機能	
0150209	2.7.6.	2		・換価執行日	標準オプション機能	
0150210	2.7.7.	1		給与、年金等の継続収入の債権については、調査結果より差押可能額が自動で計算できること。 また、計算結果を出力できること。	標準オプション機能	
0150211	2.7.7.	1		生計同一親族数を任意に入力できること。	標準オプション機能	
0150212	2.7.7.	1		支払先が２か所以上の場合でも自動で計算できること。	標準オプション機能	
	2.8.滞納処分処理					
0150213	2.8.1.		財産・権利者情報管理	処分財産の管理及び権利者情報（債権の場合は第三債務者、無体財産の場合は第三債務者等、後発の執行機関、抵当権者等）の管理（設定・保持・修正）ができること。 また、処分財産、権利者情報の文章について、編集機能を有すること。 処分財産を基に、滞納処分ができること。 預貯金の第三債務者を管理する際は、金融機関マスタから登録できること。 ＜権利者情報＞ ・郵便番号 ・住所 ・名前 ・担当部署 ・電話番号 等	実装必須機能	令和８年４月１日